

開催日：令和3年(2021年)7月3日
 会場：玉縄学習センター

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	柏尾川沿いの県道を拡幅する範囲はどこまでですか。また、嵩上げを行うのでしょうか。	柏尾川沿いの県道は、土地区画整理事業の区域に面する部分を拡幅します。また、年超過確率100分の1の降雨(24時間あたり302mm)に対して浸水しないよう、地盤高を嵩上げしたいと考えています。
2	柏尾川に新たに架ける橋は、地上を走る道路ではなく立体的な道路ですか。	新たに架ける橋は平面で渡る道路となります。
3	土地区画整理事業で地価が上がり、税収も上がると思いますが、周辺企業の動向や反応は調査されていますか。	周辺企業からは「J Rの工場や社宅寮がなくなりまちが寂しくなったが、新しいまちができることで賑わいが出来ることを期待している」等の深沢のまちづくりに対する期待の声をいただいています。
4	新駅の事業費の中で、鎌倉市負担分41億円のうち37億円を土地区画整理事業から捻出し、鎌倉市の実質的な負担は4億円であるという説明がありました。これは土地区画整理事業が実質無料でできて、余剰資金を駅に充てるということですか。	土地区画整理事業では、事業費は権利者の方々から頂いた土地の売却益、国の負担金、市の負担金で事業を実施していきます。新たに道路を作ったり、下水道を整備したり、移転補償を含めると約168億円がかかると想定しています。それについて、国からの補助金が約35億円、市の負担金が約36億円、保留地処分金が約134億円のうちの約97億円(約37億円は新駅に充てる費用へ)が、この約168億円の内訳となります。また、保留地処分金約134億円のうち約37億円を新駅設置に充てることで、鎌倉市負担分約41億のうち市の実質的な負担は約4億円と想定しています。
5	深沢地域整備事業には賛成ですが、土地区画整理事業が実施されると広域から人が集まってきて、道路渋滞がますますひどくなると思います。まちが完成して終わりではなく、後からでも良いので信号制御、道路拡幅等引き続き実施していただきたい。	渋滞については、土地区画整理事業の実施にあたり、交通管理者である神奈川県警察本部と協議することになっていきます。土地区画整理事業により、どの程度の車が増加するか試算したところ、新しくできる道路で十分対応できる結果となっています。これに加えて、深沢地区の北側にある三菱電機鎌倉製作所南側に新たな道路を整備すること等により、渋滞緩和を図ってまいります。
6	新駅の設置にあたって、大企業や受益企業に寄付金を募るなどの働きかけは行ったのですか。	現在、周辺企業からの寄附は予定していませんが、今後そのようなお声があれば、大変ありがたいと思います。
7	新しい本庁舎は令和10年度の開業と聞きましたが、建物が完成してから移転するということですか。また、現在の本庁舎の工事は、移転後に実施されるということですか。	ご発言いただいたとおりの計画です。
8	土地区画整理事業の費用である約205億円の内訳は、新駅設置費に充てる約37億円を含めた保留地処分金が約134億円、国庫補助金約35億円、市負担金約36億円ということでしょうか。	ご発言いただいたとおりの試算です。
9	深沢地域整備事業の土地利用計画(案)は、今回の地区計画の都市計画決定に反映されるのでしょうか、それとも順次反映されるのでしょうか。	今回の都市計画決定においては、深沢地域整備事業の土地利用計画(案)を基にしながら、地区計画において、地区の目標や、業務系・住宅系・商業系機能の適切な配置といった土地利用の方針等を決定します。現在、令和2年度から令和4年度までの3年間で、建築物の高さ等のまちづくりのルールを定める「まちづくりガイドライン」を策定しています。令和5年度以降にガイドラインの内容を反映させるため、地区計画を順次変更してまいります。
10	この土地区画整理事業には、全ての土地所有者が賛同しているのでしょうか。	地権者の方にアンケートを実施したところ、約84%の賛同をいただいています。残りの約2割の方については全ての方が事業に反対ということではなく、自宅が補償の対象になるか等の不安により、賛同には至らない方もいらっしゃいます。個別説明や、勉強会等により不安要素を解消し、合意を得られるように進めてまいります。
11	新駅の負担額41億円のうち、37億円を保留地処分金から充てるとのことだが、この試算で問題ないのでしょうか。10年後に赤字とならないようにしていただきたいです。	今後、土地の区画や用途を想定し計算したものを基に、事業収支を含めた土地区画整理事業の事業計画を立て、事業認可を取得していきます。また保留地処分金については、まちが完成した際にどれくらいの価格で保留地を売却できるかを、不動産鑑定士の評価に基づき試算したものであり、問題ないと考えています。
12	新橋から新駅までの距離は、400mある。市民に説明する際は「何メートル」と伝えるよりも「大船駅から玉縄支所の距離」と伝えた方がイメージが湧きやすいと思います。	ご助言いただいた内容を生かして、より市民に伝わる表現方法で説明するよう心掛けたいと思います。

13	<p>新駅の南側にどのような規模のロータリーが出来るのが非常に大事だと思います。</p> <p>また、車で行き来できる橋を造れば、交通渋滞の緩和につながると思います。</p>	<p>新駅のロータリーは、藤沢市において、バス、一般車、タクシーが入る想定で整備が計画されています。これは駅の北側、南側とも、同様に計画されています。</p> <p>駅の北側と南側を渡る通路の整備については、自由通路というかたちで歩行者や自転車が通れるように計画されています。</p> <p>いただいたご意見は、藤沢市とも共有致します。</p>
14	<p>事業区域内にある青果市場の土地は、市が所有しているのでしょうか。</p>	<p>青果市場の土地は市の所有ではなく、鎌倉青果商業協同組合の所有地です。</p>
15	<p>事業区域内にあるシンボル道路は、バス等が通るのでしょうか。行政施設等が入ると、事業区域内の交通アクセスが重要と思います。モノレール駅、新駅から地区の中に入って行く道路等、交通面での整理はどうなっていますか。</p>	<p>新駅が整備されることで、バス網の再編が必要になると考えられるため、ここには新しいバス網が整備されるものと考えます。鉄道事業者であるJR東日本も、新駅からの交通の利便性については将来の課題になると捉えているものと思いますので、JR東日本やバス事業者と協議して、新駅の利便性が高まるような交通体系を作っていくべきだと考えています。二次交通であるバス交通の利便性を高めることが、周辺の渋滞緩和に関して非常に重要な要素になりますので、道路整備と同時にバス交通の利便性を高めることで、近隣の方々のご心配をできる限り解消したいと考えています。</p>
16	<p>将来的にどういった産業をここに持ってくるのが大事だと思います。鎌倉では、情報通信業が集積してカマコンパレーと呼ばれていますが、深沢にも情報通信業を誘致してはどうでしょうか。</p>	<p>深沢地区周辺には、様々な企業が入居している湘南アイパークや湘南鎌倉総合病院が立地しており、神奈川県では村岡・深沢地域にヘルスイノベーションの最先端拠点を形成しようという構想がございます。ヘルスイノベーション産業は、創薬や医療機関に留まらず、情報通信業も大きく関連してくると考えています。いただいたご意見も踏まえて、産業の集積を図っていききたいと思います。</p>
17	<p>令和15年に事業が終了とありますが、時間がかかりすぎではないでしょうか。今から12年も経過すると世の中が変わってしまうと思います。</p>	<p>この規模の土地区画整理事業を行う場合、一度に全ての工事をすることはできません。部分的に工事ヤードとして使用したり、現在お住まいの方や商売を営んでいる方の移転先を整備し、移転後にその場所が工事できるようになるなど、段階的に工事が行われます。工事の段取りを考慮すると、この程度の年数がかかることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、この間に時代の潮流が変わっていく可能性は極めて高いと考えています。この規模のまちづくりを行う場合、最初に全てを決めてからまちづくりを進めると、10年先に10年前の考え方で計画したまちができてしまいます。そのため、現在の計画に必要な以上に固執せず、柔軟にその時代のニーズを踏まえて、時代に取り残されないまちにできるよう、ご意見を踏まえて心がけていきたいと思っています。</p>
18	<p>道路の幅に伴い嵩上げを行うとのことだったが、31haの土地自体も嵩上げを行うのですか。</p>	<p>年超過確率100分の1の降雨(24時間あたり302mm)に対して浸水しないよう、地盤高の嵩上げをする計画です。</p>
19	<p>本庁舎の移転を優先すればよいと思います。本庁舎だけはともかく完成しようという意気込みでやっていただきたいと要望させていただきます。</p>	<p>令和10年度の本庁舎の開庁に向けて、着実に事業を進めてまいります。</p>
20	<p>今日の雨によって柏尾川がどのくらい増水したか確認しましたか。専門家の見解も重要だと思いますが、実情を踏まえてまちづくりを行っていただきたいと思います。</p>	<p>柏尾川、梶原川及び新川の水位を確認しています。地元の皆さまからお寄せいただく地区周辺の浸水被害の状況も踏まえて、まちづくりを進めてまいります。</p>
21	<p>深沢の多目的広場を利用しています。できるだけ工期を短縮して、早くグラウンドを使えるようにしていただきたいです。</p>	<p>深沢地域整備事業の土地利用計画(案)では、行政施設街区にグラウンドを整備する計画となっています。今後も、事業の早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
22	<p>土地利用計画(案)の北東にある行政施設街区に、本庁舎を移転するというのでよいですか。</p>	<p>ご発言いただいたとおりの計画です。</p>
23	<p>藤沢市に出来る駅に対し、鎌倉市も同等の費用負担となるのはなぜですか。利益を受けるのは藤沢市が圧倒的に多いのに、鎌倉市としてはおかしいと思います。</p>	<p>新駅ができた場合、藤沢市民と鎌倉市民が得られるメリットのシミュレーションを実施し、藤沢市域に位置する駅ではありますが、鎌倉市民と藤沢市民が得られるメリットが同等であるという結果を得ています。この結果に基づき、鎌倉市も新駅に対して藤沢市と同等の費用を負担することで合意しています。</p>
24	<p>土地区画整理事業でどこまでの整備をするのでしょうか。事業区域内の北東のエリアは地盤高が高くなっていますが、間違いなく浸水すると思います。</p>	<p>年超過確率100分の1の降雨(24時間あたり302mm)に対して浸水しないよう、地盤高の嵩上げをする予定です。</p>

25	深沢地域整備事業について説明するのであれば、災害や費用負担等についても説明するべきではないでしょうか。	今回の説明会は、都市計画法第16条に基づき、都市計画の素案について説明し、住民意見の反映に努めるために行ったものであるため、深沢地域整備事業に係る説明は、都市計画の素案をご理解いただくために必要であるまちの将来像や、土地利用等の事業の概要に焦点を当てて行ったものです。
----	---	--